

事業概要	森林の整備や木材の生産などの森林・林業に関する事業を行い、持続可能な森林の多面的機能を向上させて森林資源の有効活用を推進しています。さらに森林の環境保全の啓発・教育に関する事業やそれらの人材育成を行い、地域の活性化を推進しています。
部署	事務局
所在地	〒989-6711 宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木70
連絡先	(電話番号)0229-25-4668
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	日本の森はその多くが植林された人工林です。ですが、今、多くの森が放置され危機的状況にあります。植えられてから一度も間伐されず、細い杉で混み合う暗い森。伐り捨てられた丸太が散乱する森。皆伐で丸裸にされたままの森。こうした森は災害も起きやすく、森の持つ公益機能や多様性も失われてしまいます。 私達はローカルSDGs活動を通して森林の環境保全機能を十分に発揮させるとともに、伐るだけ・植えるだけで終わらない循環型林業、国産木材の市場価値の向上、林業に携わる人の雇用確保を実現していきたいと考えています。また、間伐材などがしっかりとお金になることで山の管理をする人が増え、豊かな地域経済の支えとなるような社会を目指していきたいと思っています。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

分野 農林水産業・地場産品

◆森林整備・再生事業:

バブル崩壊によって失敗したリゾート開発跡地を再生させる事業を行っています。30年経っても森へ戻れないままの土地が再び豊かさを取り戻し、その恵みを未来へ繋いでゆけるよう、森づくりを進めています。

持続可能な林業と、100年200年の木が育つ森づくりを目指し、その整備方針に賛同頂いた山主さんと長期の協定を結び間伐整備も行っています。

針葉樹の一斉林から針広混交の天然更新する複層林へ生まれ変わらせ、生物多様性のある森を実現します。また、森を壊さない施行(小型林業機械・馬搬の組み合わせ、必要最小限の道幅の作業道)を徹底して作業を行っています。

◆生産・販売:

原木の丸太は、直接グループの製材所や工務店へ出荷し、建材や家具材として利用されます。建材や家具材にならない丸太は薪や、製材過程で出た端材と一緒にチップ・ペレットへと加工し、紙や熱利用の原料にしています。この木材のカスケード利用による有効活用によって、循環する暮らしを実現しています。

◆普及・啓発:

地域の旅館や飲食店、林業家、クラフト関係者、教育関係者からなる協議会に参加し、地域体験プログラムとして立地を活かした「自然体験」、豊かな環境から生まれたこけしや漆器などの「木工文化体験」、森林資源を活用したエネルギー循環を学ぶ「環境体験」を行っています。

また、これらの体験プログラムと温泉地での滞在を組み合わせ、非日常的な経験を通じ、訪れる人も住む人もより豊かになる新しいツーリズムの仕組みづくりに取り組んでいます。

その他にも、伝統の鳴子こけしの材料となるミズキの木の植樹や、地元の大学に通う学生たちによるフィールドワーク、エネルギーシステムを活用した新たな農産加工品の開発など、さまざまな分野で地域とのつながりを強化しながら活動しています。

県外の企業や団体のCSR活動の支援も行っており、新たに地域とつながりたいと考えている方々からのお問合せにも、できる限り対応しております。

お気軽にお問合せください。

URL NPO法人しんりん << ハイブリッド林業と100年200年続く未来の森づくり (<http://shinrin.org/>)

上記ソリューションを提供できる地域について

宮城県(啓発活動に関しては全国から受け入れ可)

自者の特徴

100年200年続く森を目指して、丸太の価格重視ではない間伐を行っています。森から搬出する作業も、小型機械や馬搬にて行い、森に負担をかけない林業を行っています。グループ各社と連携し、建材などに利用できないものや、加工の過程で出るカンナ屑等も、すべて余すところなくチップやペレットに加工して利用することで、間伐材の林間放置をなくし、資源の循環を行っています。

啓発活動としては、乱伐された森や自然災害の被害があった場所の再生の一環として植樹活動や、木材のカスケード利用を学べる見学受け入れ、森遊びを通して森の大切さを次世代に伝える体験プログラムなどを行っています。



〈実績〉

セブンの森活動: 荒れた山地や被災した土地への植樹活動を行っています。

また、間伐材を利用した募金箱を地元の福祉作業施設の協力のもと作成し、全国に届けています。

バイオマスエネルギー事業見学: 地元の異業種間で構成される協議会を通して、木質チップを熱利用する施設の見学を受け入れています。子ども達の学びの場としての活用のほか、導入を検討する事業者との橋渡しも行っています。

こけしの森の植樹祭: 鳴子温泉地域のこけし職人と一緒に、こけしの原料になるミズキの森を作り、守る活動を行っています。

メットライフ財団の森: 生物多様性と水の浄化を促す針広混交林の育成を目指し植樹だけで終わらない、100年続く森を作る活動を行っています。

SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

企業や自治体の植樹活動などは1度の活動で終わってしまうことも多く、植樹した場所の年間を通した整備までを一貫して事業に組み込んでもらえない場合が多い。

他の材木業者が行う間伐と自者の間伐の違いを知ってもらう機会がない。

SDGs活動がすべてボランティアだとみなされる傾向が強く、経済循環につながらない。

日本で育った木であることの良さが、まだ十分に理解されていないと感じる。

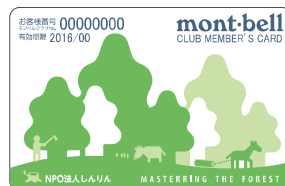
モンベルクラブ・サポートカード 会員募集

森づくりの活動を応援しませんか？モンベルの会員カードでしんりんのサポートができます！

お買い物でポイントゲット&活動サポート

モンベルのお買い物で、普段と変わらないポイントを獲得。更に、応援する団体へは、モンベルが寄付をしてくれるという素敵なシステムです。

お申込みはモンベルへ
<http://club.montbell.jp/aboutcard/other/>



【本部】 〒 989-6711 宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木 70
 (エコラの家 エコラの森)

【事務所】 〒 989-6711 宮城県大崎市鳴子温泉字沢 74-21
 (サスティナヴィレッジ内)

Tel: 0229-25-4668 Fax: 0229-25-5251

Mail: info@shinrin.org <http://shinrin.org> @NPOSHINRIN



特定非営利活動法人
しんりん

山側から循環型社会を目指す

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

森の恵みは、海まで繋がり、地球上のすべての命を豊かに育てています。

日本の森はその4割が植林された人工林です。ですが、木材価格の長期低迷により林業は衰退、多くの森が放置され危機的状況にあります。植えられてから一度も間伐されず、細い杉で混み合う暗い森。伐り捨てられた丸太が散乱する森。皆伐で丸裸にされたままの森……。こうした森は災害も起きやすく、森の持つ公益機能や多様性も失われています。

私たちは森林の環境保全機能を十分に発揮させるために、持続可能な林業を行いつつ森林資源を有効活用する新しい産業と、森林と共生する循環型の社会システムを作り、森林を育てる人材を育成し、森を元気にします！

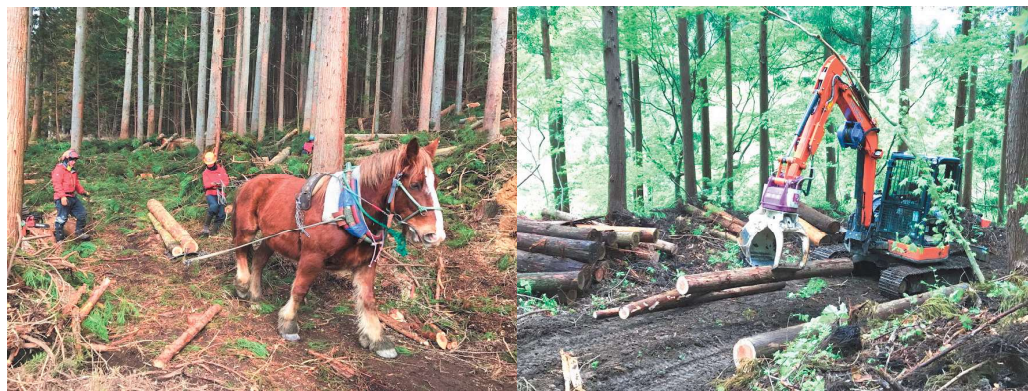


活動拠点【本部】エコラの森

バブル崩壊で失敗したリゾート開発跡地が当法人の活動拠点です。約260haの森は、半分近くが債権代わりになり乱伐。その後、ご縁あってこの地を整備することになりました。大きな切り株や売れずに捨てられた丸太が、乱伐の傷跡となって残り30年以上経っても森へ戻れないままです。この森が再び豊かさを取り戻し、その恵みを未来へ繋いでゆけるよう、森づくりを進めています。



本部研修所「エコラの家」



森林整備—山を壊さない、生物多様性のある美しい森を育てる

エコラの森には伐ってもお金にならない木だけが残されました。そうして残った木を間伐整備しています。また、当法人の整備方針にご賛同頂いた山主さんとの間に長期の協定を結び間伐整備も行っています。地域の森全体を守り育てることを推進しています。

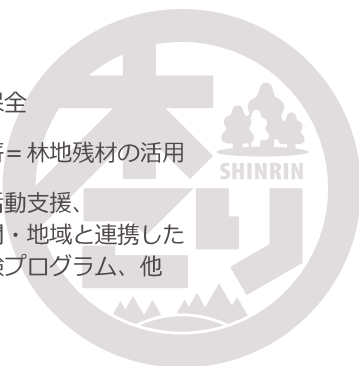
- 間伐で森を健やかに。間伐→択伐で持続可能な林業を。100年200年の木が育つ森へ。
- 針葉樹の一斉林から、針広混交の天然更新する複層林へ。生物多様性のある森へ。
- 森を壊さない施行（小型林業機械・馬搬の組み合わせ、必要最小限の道幅の作業道）

事業内容

森林整備 管理、保全

生産販売 原木 薪＝林地残材の活用

普及啓発 CSR活動支援、
教育機関・地域と連携した
林業体験プログラム、他



宮城セブンの森

私学の森 — いろんな名前があるエコラの森

【宮城セブンの森】エコラの森はセブン-イレブン様が支援する『宮城セブンの森』として、セブン-イレブン記念財団様と協定を結び、森づくりの様々な取り組みを協働しています。



「セブン-イレブンの募金箱」
宮城セブンの森の間伐材を使用、グループの工務店（サスティナライフ森の家）が製品加工し、岩出山の福祉作業所で組み立てています。



【私学の森】横浜を拠点とする学習塾、日能研様と協定を結び『私学の森』として子供たちが森を体験し学ぶことを推進しています。

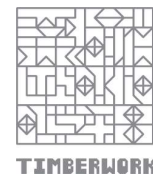


「森で学ぶ」プログラム
都内私立高校の生徒達。森の中での体験学習の様子。



生産販売—余すところなく

原木の丸太は、直接グループの製材所や工務店へ出荷し、建材や家具材として利用されます。建材や家具材にならない丸太は、薪やチップへの熱利用や紙の原料に。カスケード利用による有効活用と、循環する暮らしを創る取り組みに参加しています。



普及啓発—未来へ繋ぐ



NPO しんりんが目指す100年200年の森。今の私たちだけでは実現不可能です。次の世代、その次の世代へと伝え継がれてゆくために、林業体験の受け入れや、企業の森づくりのCSR支援等の普及活動を行っています。

「社会貢献の森」震災で失われた海岸防災林の再生
セブン-イレブン記念財団様、NTTグループ様、CSR活動支援。



荒れてしまった森は、人の手助けがなければ再生困難です。また、杉や檜の人工林はお手入れが必要です。国産の木材を利活用することが森を守ることに繋がります。

イベントを不定期に開催～FBやHPでお知らせ。是非ご参加下さい！